

10月7日にパレスチナ自治区がザのイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が激化して一ヶ月がたちました。圧倒的な軍事力を持つイスラエルは難民キャンプや病院、救急車まで無差別に攻撃し、子どもを含む大勢のパレスチナ人を殺害しています。明らかな国際人道法違反であり、戦争犯罪です。イスラエルの攻撃中止、即時停戦を実現するため、国際社会が緊急に行動を強めることが必要です。

### ジョンサイドの危機画面

イスラエルの蜜行

主張

す。地区北部には約40万人の住民  
が居るとみられ、パレスチナ人が  
シェノサイド（集団殺害）の深刻  
な危機に直面しています。

1948年のシェノサイド条約  
は、国民、民族、人種、宗教の集  
団それ自体の破壊を意図した殺害  
や危険を加える行為を禁じていま

肢」と発言しました。非人道的な大爆破機器の使用を言及した罪で、イブラエルは核兵器の保有を否定も肯定もしませんが、核保有を確実視されています。ネタニヤフ首相は今回の作戦を「現実離れ」としましたが、政府本音によるだ

田文雄政権も、イスラエルの人攻撃について国際人道法違反の批判を避けています。〔状況を十分に把握できない〕（參照）法的判断はできない」（参照）金での賠償金）とともに、国連総会決議は反対しました。

時停戦で人道支援に役割を果たすよう求められていますが、米国の顔色をうかがう姿勢では、責任を全うできません。

## 無差別攻撃止める声高めよう

ペラエルの攻撃由比、即時停戦を実現するために、国際社会が緊急に行動を強めることが必要です。

せていたジャバリや難民キャンプには何発ものミサイルが撃ち込まれました。民間人に対する武力攻撃を禁じた国際人道法をまったく顧みない蛮行です。

す。ナチス・ドイツによるエターナル人絶滅策を世界が防げなかつたことへの反省が込められた条約です。国際法上の重大な犯罪を絶対に許してはなりません。

5月2日はイスラエルのエリヤフ・エルサレム問題・遺産相がガザ地区への「原爆投下が一つの選択

視は続治的米多の人のへ人

軍事的支援があります。田嶋國は「イスラエルの自衛権」とカザ攻撃を支持し、弾薬をイルを供与しています。田嶋の被撃をでざる眼の避ひの上に、田嶋の胸うづかで、田嶋

米國うかがう諮詢やめよ  
道的な戰闘休止です。個別の司令官が判断するがつゝ一時的な休止はあつて、戰争そのものは停止は求めませよ。